



平成 22 年 1 月 6 日

各 位

会 社 名 株式会社セディナ
 代表者名 代表取締役社長 舟橋 裕道
 (コード：8258、東証・名証第 1 部)
 問合せ先 広報 I R 部長 平野 浩彦
 (TEL：03-6714-7723)

第三者割当による新株式発行及び親会社の異動に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 1 月 6 日開催の当社取締役会において、下記のとおり、平成 22 年 3 月 12 日開催予定の当社臨時株主総会（以下「本件臨時株主総会」といいます。）において新株式の発行に関する議案が承認されること及び関係当局の許認可等が得られること等を条件として、株式会社 SMFG カード&クレジット（以下「FGCC」といいます。）を引受先とした第三者割当による新株式（以下「本件株式」といいます。）の発行（以下「本件第三者割当」といいます。）を行うことについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

また、本件第三者割当により、当社の親会社の異動が見込まれますので、併せてお知らせいたします。

記

1. 第三者割当による新株式発行

1. 募集の概要

(1) 発 行 期 日	平成 22 年 5 月 31 日
(2) 発 行 新 株 式 数	普通株式 324,675,300 株
(3) 発行価額 (払込金額)	154 円
(4) 調 達 資 金 の 額	49,999,996,200 円
(5) 募 集 又 は 割 当 方 法 (割 当 先)	第三者割当の方法による (FGCC)
(6) そ の 他	上記各号については、本件臨時株主総会において、本件第三者割当に関する議案が承認されること、関係当局の許認可等が得られること及び金融商品取引法に基づく有価証券届出書の効力が発生することを条件とする。

1. FGCCは、株式会社三井住友フィナンシャルグループ（以下「SMFG」といいます。）が 100% 出資する子会社であり、現在当社の筆頭株主であります。
2. 当社は、会社法第 124 条第 4 項に基づき、平成 22 年 6 月開催予定の当社定時株主総会（以下「平成 22 年定時株主総会」といいます。）に係る基準日後に本件株式を取得する予定である FGCC に対し、平成 22 年定時株主総会における本件株式に係る議決権を付与いたします。

2. 募集の目的及び理由

当社が属するクレジット業界は、利息返還請求が高止まりしていることに加え、改正貸金業法の本格施行に向けた対応が必要となり、また割賦販売法の改正等による規制強化がなされる等、依然として厳しい状況が続いています。さらに、国内経済を見ると、リーマンショック以降、需要の急激な落ち込みと価格低下というデフレスパイラルが進行し、雇用情勢や所得環境の悪化を招いており、当社を取り巻く経営環境も極めて厳しい状況でございます。

現在の厳しい経営環境の中、当社は平成 21 年 4 月 1 日、「クレジットカード事業と信販事業、ソリューション

オン事業を核とした、専門性と機動性に溢れたわが国最大級のコンシューマーファイナンス会社の実現」を目指して、株式会社オーエムシーカード、株式会社セントラルファイナンス及び株式会社クオークの3社が合併（以下「本件合併」といいます。）し、株式会社セディナとして事業を開始いたしました。

当社は、本件合併後速やかに合併シナジーを発揮し、競合他社との差別化を図るべく、経営効率化の推進と既存事業の融合に取り組んでおります。具体的には、827名の希望退職の実施等による人事構造変革を始めとするコスト構造の変革や、営業体制見直し等の抜本的な事業構造の変革等、全社的な経営構造変革の断行を進めているところであります。

こうした中、当社は、事業拡大のための新規事業への投資、次世代システム開発への投資、事業構造の変革への投資等、当社の企業価値向上が見込まれる分野への投資を間断なく進めることにより、当社の収益構造の改善を図ることが喫緊の課題と考えております。加えて、今後の安定した事業運営のために、自己資本の充実及び財務の健全性の強化を図ることが重要と認識しております。

今般、当社とFGCCは、上記のような認識を共有し、当社が、FGCCを引受先とする第三者割当による増資を行うことで、当社に必要な資金を調達することに合意いたしました。

今回の調達予定額が、約500億円であり、このような多額の必要資金を早期かつ確実に調達する様々な手法を検討した結果、現時点では本件第三者割当が最も有効かつ確実であると判断し、また、本件第三者割当により、SMFGグループとの更なる関係強化を図りながら、今後さらに予想される厳しい経営環境に迅速に対応し、抜本的な事業構造の変革及びコスト構造の変革をさらに推進することができるという認識をFGCCと共有したことが、本件第三者割当を選択した主な理由となります。

本件第三者割当により、株式の希薄化が生じますが、本件第三者割当は、厳しい経営環境への迅速な対応並びに当社の事業構造及びコスト構造の変革の推進を可能とし、もって当社の業績発展に大きく寄与し、経営・財務基盤の安定にも繋がるものであり、既存株主の皆様にも十分な利益をもたらすことができると判断いたしております。

3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

(1) 調達する資金の額（差引手取概算額）

払込金額の総額	49,999,996,200円
発行諸費用の概算額	540,000,000円
差引手取概算額	49,459,996,200円

(2) 調達する資金の具体的な使途

本件第三者割当による差引手取概算額495億円の使途につきましては、東南アジア等、海外における金融事業の展開を含む新規事業への投資等に係る資金として約50億円、三井住友カード株式会社との間で協働で行っているクレジットカード事業等における次世代システム開発への投資等に係る資金として約190億円、事業構造の変革への投資等に係る資金（当社内における本件合併後の事業間融合に向けた投資及びSMFGグループ内における連携によるシナジー実現に向けた投資並びにコスト構造の変革への投資に係る資金及び割賦販売法等の業法改正に対応するインフラ整備への投資に係る資金等）として約255億円をそれぞれ充当する予定です。

(3) 調達する資金の支出予定時期

海外における金融事業の展開を含む新規事業への投資等に係る資金については平成22年6月から平成25年3月まで、次世代システム開発への投資等に係る資金については平成22年6月から平成27年3

月まで、事業構造の変革への投資等に係る資金については平成22年6月から平成27年3月までにそれぞれ支出することを予定しております。

なお、当社は、本件第三者割当による差引手取概算額を、上記の資金使途に充当するまでの間、当社銀行口座にて管理いたします。

4. 資金使途の合理性に関する考え方

本件第三者割当は、SMFGグループのクレジットカード事業戦略における中核会社のひとつとしての当社と同グループとの連携をさらに強め、かつ、新規事業への投資による収益力の向上並びに次世代システム開発及び事業構造の変革への投資によるコスト構造の抜本的改善に向けた資金調達を行うことにより、経営・財務基盤を磐石にし、当社の営むクレジットカード事業と信販事業、ソリューション事業をより一層強化、育成し、当社の業績を向上させるものであることから、当該資金使途は経営上合理的なものであると考えております。

5. 発行条件等の合理性

(1) 払込金額の算定根拠及びその具体的内容

本件第三者割当の払込金額は、当社の業績動向、今回発行される株式数、昨今の株式市場の動向等を踏まえ、本件第三者割当に係る取締役会決議日の直前営業日から1か月遡った期間の株式会社東京証券取引所における当社株式の終値の単純平均169円に0.91を乗じた金額である154円といたしました(なお、当該払込金額は、取締役会決議日の直前営業日(平成22年1月5日)の終値171円に対して9.94%のディスカウントとなります。)

当社といたしましては、上記のとおり本件第三者割当に係る取締役会決議日の直前営業日から1か月間における当社普通株式の市場価格を前提とすれば、払込金額は特に有利な金額ではなく、有利発行には該当しないものと判断しておりますが、本件第三者割当の払込期日は、取締役会決議日から相当の期間が経過した後である平成22年5月31日を予定しており、払込金額が払込期日における当社株式の市場価格から乖離する可能性があることから、本件第三者割当の払込みに先立ち開催する本件臨時株主総会において、念のため、後記「10. 発行要項」記載の条件による本件第三者割当について、会社法上の特別決議による株主の皆様のご承認を得ることを予定しております。

(2) 発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

本件株式の発行数は324,675,300株(議決権数3,246,753個)であり、現在の当社の発行済株式総数487,596,479株(総議決権数4,852,618個)に対して66.59%の割合(議決権における割合66.91%)で希薄化が生じます。

しかしながら、本件第三者割当は、調達した資金を新規事業への投資並びに次世代システム開発及び事業構造の変革への投資にそれぞれ充当することにより、当社のコスト構造の改善及び収益力の向上を推進し、これにより、成長基盤の確立及び財務体質の強化を図ることを目的としております。以上の理由により、企業価値及び株主価値の向上に寄与するものと見込まれることから、今回の発行数量及び株式の希薄化の規模は合理的であると考えております。

(3) 払込みまでの手続

本件第三者割当の取締役会決議後、本件第三者割当の必要性及び相当性について株主の皆様へ説明し、本件臨時株主総会において会社法上の特別決議による株主の皆様のご承認を得る予定です。

また、本件第三者割当により、当社は銀行持株会社であるSMFGの連結子会社となるため、当社の一定の事業及び関係会社の整理、当社定款の事業目的の変更等、銀行法その他の適用法令上必要な対応

を、本件第三者割当の取締役会決議後、払込期日の前までに行う必要があります。

これらの手続を円滑かつ確実にを行うため、上記払込期日を平成22年5月31日といたしました。

6. 割当先の選定理由等

(1) 割当先の概要

(平成21年9月30日現在)

(1) 名 称	株式会社SMFGカード&クレジット			
(2) 所 在 地	東京都千代田区有楽町一丁目1番2号			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 城野 和也			
(4) 事 業 内 容	子会社及び関連会社の経営管理等			
(5) 資 本 金	100百万円			
(6) 設 立 年 月 日	平成20年10月1日			
(7) 発 行 済 株 式 数	22,349株			
(8) 決 算 期	3月31日			
(9) 従 業 員 数	31人			
(10) 主 要 取 引 先	該当事項はありません。			
(11) 主 要 取 引 銀 行	該当事項はありません。			
(12) 大株主及び持株比率	株式会社三井住友フィナンシャルグループ	100%		
(13) 当事会社間の関係				
資 本 関 係	FGCCは、当社株式の45.84%を保有しております。			
人 的 関 係	当社の代表取締役社長の舟橋裕道は、FGCCの社外取締役を兼務しています。 FGCCの代表取締役社長の城野和也は、当社の社外取締役を兼務しています。 当社の従業員11名は、FGCCへ出向しています。			
取 引 関 係	該当事項はありません。			
関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	FGCCは、当社株式の45.84%を保有するその他の関係会社に該当します。			
(14) 最近3年間の経営成績及び財政状態 (単体)				
	決算期	平成19年3月期	平成20年3月期	平成21年3月期
純 資 産	—	—	—	123,250.4百万円
総 資 産	—	—	—	123,268.7百万円
1株当たり純資産	—	—	—	5,514,808円
営 業 収 益	—	—	—	88.8百万円
営 業 利 益	—	—	—	△58.3百万円
経 常 利 益	—	—	—	△58.3百万円
当 期 純 利 益	—	—	—	△16,977.6百万円
1株当たり当期純利益	—	—	—	△1,137,531円
1株当たり配当金	—	—	—	—

- ※ FGCCは、平成20年10月1日に設立されましたので、平成19年3月期及び平成20年3月期の経営成績及び財政状態に係る数値は存在しません。
- ※ なお、当社は、割当先より割当先、当該割当先の役員又は株主が反社会的勢力等とは一切関係がないことの説明を受け、また、割当先の完全親会社であるSMFGが株式会社東京証券取引所、株式会社大阪証券取引所及び株式会社名古屋証券取引所の各市場第一部に上場しており、その開示情報並びに、当社と割当先及びSMFGとの従来からの資本関係、取引関係等当社の認識している情報も踏まえ割当先、当該割当先の役員又は株主が反社会的勢力等との関係を有していないことを確認しており、その旨の確認書を株式会社東京証券取引所及び株式会社名古屋証券取引所に提出しています。

(2) 割当先を選定した理由

当社は、SMFGグループのクレジットカード事業戦略の中核会社のひとつとして、SMFGグループとの連携をさらに強め、当社の営むクレジットカード事業と信販事業、ソリューション事業をより一層強化、育成するため、本件株式の全てをFGCCが引き受けることで、FGCCと合意いたしました。

(3) 割当先の保有方針

FGCCは、SMFGグループのクレジットカード事業戦略の中核会社のひとつとして当社株式を中長期的に保有する方針です。なお、当社は、FGCCに対して、本件株式の発行日から2年間において、本件株式の全部又は一部を第三者に譲渡した場合には、譲渡を受けた者の氏名又は名称及び譲渡株式数等の内容を直ちに書面により当社へ報告すること、当社が当該報告内容を株式会社東京証券取引所及び株式会社名古屋証券取引所に報告すること、並びに当該報告内容が公衆縦覧に供されることに同意することにつき、確約書の発行を依頼する予定であります。

(4) 割当先の払込みに要する財産の存在について確認した内容

当社は、割当先であるFGCCから、同社の平成21年3月期の財務諸表が記載された事業報告書の開示を受け、同社の営業収益、総資産額、純資産額、現預金等の状況を確認し、FGCCの完全親会社であり、FGCCを管理及び運営するSMFGが財務局へ提出した直近の有価証券報告書及び四半期報告書に記載の経常収益、総資産額、現金預け金等の状況を確認した他、FGCC及びSMFGの事業内容、規模、従来における当社との取引関係、資本関係等を考慮した結果、本件第三者割当の払込みについて確実性があるものと判断しております。

7. 募集後の大株主及び持株比率

募集前 (平成21年9月30日現在)		募集後	
(株) SMFGカード&クレジット	45.84%	(株) SMFGカード&クレジット	67.49%
(株) ダイエー	9.03%	(株) ダイエー	5.42%
アコム(株)	6.58%	アコム(株)	3.95%
三井物産(株)	2.21%	三井物産(株)	1.33%
ドイツ証券(株)	1.90%	ドイツ証券(株)	1.14%
銀泉(株)	1.68%	銀泉(株)	1.01%
日本生命保険(相)	0.86%	日本生命保険(相)	0.52%
第一生命保険(相)	0.80%	第一生命保険(相)	0.48%
三井住友カード(株)	0.79%	三井住友カード(株)	0.47%
SMB C信用保証(株)	0.72%	SMB C信用保証(株)	0.43%

(注) 募集後の持株比率は、平成21年9月30日現在の株主名簿上の株式数に、本件第三者割当で増加する予定の株式数を加算して算出しています。

8. 今後の見通し

本件第三者割当により、当社の事業を強化・充実・発展すべく、より積極的な事業展開の推進が可能となり、中長期的に業績ひいては企業価値及び株主価値の向上につながるものと考えております。

また、当社は、本件第三者割当を契機として、SMFGグループのクレジットカード事業戦略の中核会社のひとつとして、FGCCとの連携をさらに強めてまいります。なお、本件第三者割当の実施後、当社はSMFGの連結子会社となる予定です。

なお、平成22年3月期の業績に与える影響はありません。

(企業行動規範上の手続き)

○ 企業行動規範上の手続きに関する事項

本件第三者割当により支配株主の異動が見込まれ、かつ、本件第三者割当による希薄化率は、本件第三者割当に係る取締役会決議前における発行済株式総数に係る議決権の数を前提とすると66.91%となり、希薄化率は25%以上となることを見込まれます。既存株主の皆様は極めて大きな影響が生じることにより鑑み、特に有利な金額で発行するものではありませんが、本件第三者割当の必要性及び相当性について株主の皆様は説明をし、株主の皆様のご承認を得るべく、当社は、本件臨時株主総会において、上記の支配株主の異動及び希薄化を伴う後記「10. 発行要項」記載の条件による本件第三者割当について、会社法上の特別決議による株主の皆様のご承認を得ることを予定しております。

9. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近3年間の業績 (連結)

	平成19年2月期	平成20年2月期	平成21年3月期
連結売上高	155,383百万円	151,602百万円	140,254百万円
連結営業利益	32,740百万円	7,835百万円	7,448百万円
連結経常利益	33,292百万円	7,900百万円	7,527百万円
連結当期純利益	13,944百万円	△22,538百万円	3,974百万円
1株当たり連結当期純利益	65.92円	△106.53円	16.56円
1株当たり配当金	20.00円	0.00円	0.00円
1株当たり連結純資産	357.57円	238.07円	252.36円

(注) 上記の数値については、本件合併に係る存続会社である株式会社オーエムシーカードの金額を記載しております。

(2) 現時点における発行済株式の総数及び潜在株式数の状況 (平成22年1月6日現在)

	株式数	発行済株式の総数に対する比率
発行済株式数の総数	487,596,479株	100%
現時点の転換価額(行使価額)における潜在株式数	一株	—%
下限値の転換価額(行使価額)における潜在株式数	一株	—%
上限値の転換価額(行使価額)における潜在株式数	一株	—%

(注) 平成22年1月6日時点において潜在株式はありません。

(3) 最近の株価の状況

① 最近3年間の状況

	平成19年2月期	平成20年2月期	平成21年3月期
始 値	1,860 円	873 円	457 円
高 値	2,465 円	1,124 円	464 円
安 値	800 円	279 円	116 円
終 値	873 円	492 円	170 円

② 最近6か月間の状況

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
始 値	215 円	180 円	172 円	152 円	187 円	163 円
高 値	221 円	190 円	173 円	182 円	198 円	176 円
安 値	166 円	166 円	148 円	151 円	158 円	162 円
終 値	182 円	174 円	155 円	182 円	162 円	169 円

(4) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

・第三者割当による第1回転換社債型新株予約権付社債の発行

発 行 期 日	平成20年10月14日
調 達 資 金 の 額	13,000,000,000 円 (差引手取概算額: 12,910,000,000 円)
転 換 価 額	240 円
募集時における 発行済株式数	213,682,082 株
割 当 先	株式会社三井住友フィナンシャルグループ
当該募集による 潜在株式数	転換価額 (240 円) における潜在株式数: 54,166,666 株
現時点における 転 換 状 況 (行 使 状 況)	転換済株式数 (行使済株式数): 54,166,666 株
発行時における 当初の資金用途	合併関連システム投資資金、事業のインフラ整備に係る資金、提携カード開発や新ブランド戦略の推進及び次世代システム開発投資に係る資金
発行時における 支出予定時期	平成20年10月から平成24年3月までの期間
現時点における 充 当 状 況	上記資金用途に記載した各資金に充当しております。

・第三者割当による募集株式の発行

発行期日	平成20年10月14日
調達資金の額	15,999,984,000円(差引手取概算額:15,819,984,000円)
発行価額(払込金額)	240円
募集時における発行済株式数	213,682,082株
当該募集による発行株式数	66,666,600株
募集後における発行済株式総数	280,348,682株
割当先	株式会社三井住友フィナンシャルグループ
発行時における当初の資金用途	合併関連システム投資資金、事業のインフラ整備に係る資金、提携カード開発や新ブランド戦略の推進及び次世代システム開発投資に係る資金
発行時における支出予定時期	平成20年10月から平成24年3月までの期間
現時点における充当状況	上記資金用途に記載した各資金に充当しております。

10. 発行要項

- | | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 募集株式の種類・数 | 普通株式 324,675,300株 |
| (2) 払込金額 | 1株につき金154円 |
| (3) 払込金額の総額 | 金49,999,996,200円 |
| (4) 増加する資本金及び資本準備金に関する事項 | 増加する資本金の額
1株につき金77円(総額金24,999,998,100円)
増加する資本準備金の額
1株につき金77円(総額金24,999,998,100円) |
| (5) 募集方法 | 第三者割当の方法 |
| (6) 申込期日 | 平成22年5月31日 |
| (7) 払込期日 | 平成22年5月31日 |
| (8) 割当先及び割当株式数 | F G C C
普通株式 324,675,300株 |
| (9) 上記各号については、本件臨時株主総会において、本件第三者割当に関する議案が承認されること、関係当局の許認可等が得られること及び金融商品取引法に基づく有価証券届出書の効力が発生することを条件といたします。なお、平成22年定時株主総会に係る基準日後に本件株式を取得した者(F G C C)に対し、平成22年定時株主総会に係る議決権を付与いたします。 | |

II. 親会社の異動

1. 異動が見込まれる経緯

当社は、本件第三者割当により発行される 324,675,300 株を、全て SMFG の完全子会社である FGCC に割り当てる予定です。この結果、その他の関係会社である FGCC 及び SMFG は、以下のとおり親会社に該当することが見込まれます。

2. 異動が見込まれる親会社の概要

(1) 親会社の概要 (FGCC)

上記 I. 6. (1) に記載の「割当先の概要」をご参照ください。

(2) 親会社の概要 (SMFG)

(1) 名 称	株式会社三井住友フィナンシャルグループ		
(2) 所 在 地	東京都千代田区有楽町一丁目1番2号		
(3) 代表者の役職・氏名	取締役社長 北山 禎介		
(4) 事 業 内 容	傘下子会社経営管理、並びにそれに付帯する業務		
(5) 資 本 金	1,851,389 百万円		
(6) 決 算 期	3月31日		
(7) 上 場 取 引 所	株式会社東京証券取引所市場第一部、株式会社大阪証券取引所市場第一部、株式会社名古屋証券取引所市場第一部		
当事会社間の関係			
(8)	資 本 関 係	SMFGは完全子会社のFGCCを通じて、当社株式の45.84%を間接保有しております。	
	人 的 関 係	当社の代表取締役社長の舟橋裕道は、SMFGの完全子会社であるFGCCの社外取締役を兼務しています。FGCCの代表取締役社長の城野和也は、当社の社外取締役を兼務しています。	
	取 引 関 係	該当事項はありません。	
	関係当事者への該当状況	SMFGは、当社株式の45.84%をFGCCを通じて保有するその他の関係会社に該当します。	

3. 当該株主の所有株式数（議決権の数）及び総株主の議決権の数に対する割合

FGCC	議決権の数 (所有株式数)	総株主の議決権の 数に対する割合※	大株主順位
異 動 前 (平成21年9月30日現在)	2,235,034 個 (223,503,400 株)	46.06%	第1位
異 動 後	5,481,787 個 (548,178,700 株)	67.68%	第1位

※ 議決権を有しない株式として発行済株式総数から控除した株式数 2,334,679 株
平成21年9月30日現在の発行済株式総数 487,596,479 株

4. 異動予定年月日

平成 22 年 5 月 31 日（予定）

5. 今後の見通し

当社と当社の親会社となる見込みである FGCC 及び SMFG とは、今後更に相互協力を強化・構築してまいります。また、当社は引き続き当社株式の株式会社東京証券取引所市場第一部及び株式会社名古屋証券取引所市場第一部における上場を維持する方針であります。

FGCC は、SMFG グループのクレジットカード事業戦略の中核会社のひとつとして当社株式を中長期的に保有する方針です。また、FGCC は SMFG の完全子会社であるため、当社は SMFG の連結子会社となる見込みです。

【ご参考】 本件に関する本日付公表のその他の開示資料

- ・ 株式会社三井住友フィナンシャルグループ（コード番号 8316）及び株式会社 SMFG カード&クレジット
「株式会社三井住友フィナンシャルグループの完全子会社である株式会社 SMFG カード&クレジットを通じた株式会社セディナの第三者割当増資の引受け及び連結子会社化について」

以 上